

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	施設独自の災害対策をマニュアル化しているが、避難・防災訓練併設の特別養護老人ホームと合同で行うのみとなっている。	施設独自で、地域の住民や消防署の協力を得て避難・防災訓練を行い、災害時に備えるよう取り組みたい。	○避難場所となっている、特別養護老人ホームとの間の2階連絡通路までの避難訓練を年2回必ず実施する。(H24.9. 4実施) ○消火器を使った消火訓練を、職員・ご入居者様と一緒にいき、消火器の取り扱いと初期消火を学び火災時に備える。(H24. 9. 6実施) ○近隣住民や職員への緊急連絡を行い、被災時の応援を迅速に行えるよう訓練する。(H24. 9. 29実施予定) 年2回以上必ず実施し、消防署へ書類を提出、実施確認を依頼する。	1ヶ月
2	5	現状、防犯上1階玄関に関しては、日中の外出時以外は施錠となっており、身体拘束を無くすには常時解錠するよう指摘を受けている。	ご入居者様の希望時は、解錠するように心がけているが、今後は夜間以外は解錠するよう取り組みたい。	○2階連絡通路は常時解錠とし、園芸スペースへの出入りを自由に行えるようにしている。 ○1階を常時解錠し、施設北側に日光浴が出来るスペースを設置、職員見守りで自由に出入りできるようにする。	3ヶ月
3	15	現状、併設の特別養護老人ホームより調理済みの食材を提供してもらい、盛り付けをお手伝い頂いているが、グループホーム本来の「調理」が出来ていない。	食事の外注業者を変更し、職員と一緒に調理することにより、より家庭的で楽しい食事時間の提供したい。	○12月を目標に外注業者と食事形態を決定し、提供に向けての準備を行う。 ○調理に必要な設備を準備し、ご入居者様が調理を行いやすい環境を整備する。 ○その他のサービスに支障が出ないよう、職員体制を組み直す。	3ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。